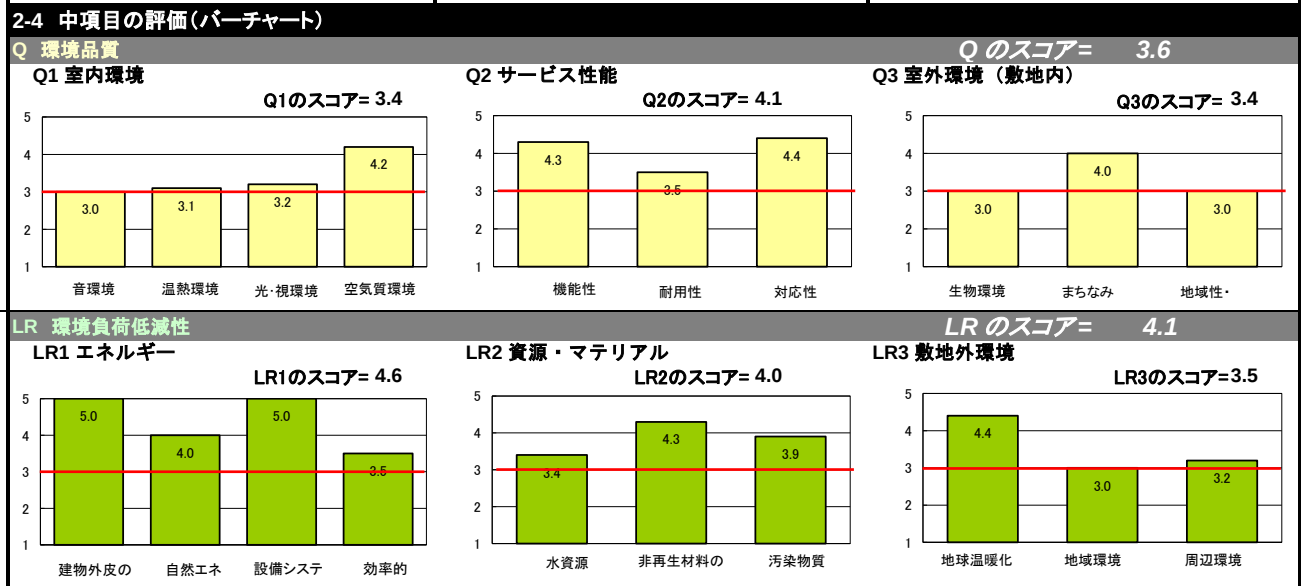
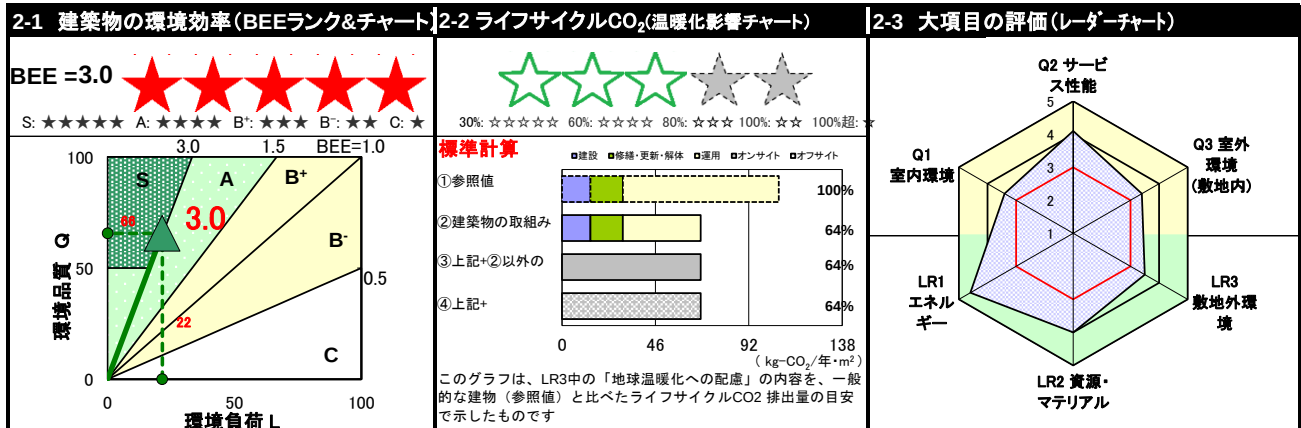


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本バーカライジング新総合技術研究所	階数	地上5F
建設地	神奈川県平塚市大神2784番1外8筆	構造	S造
用途地域	工業地域、都市計画区域内(市街化区域)	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,940 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2025年4月16日
敷地面積	5,003 m ²	作成者	株式会社竹中工務店東京一級建築士事務所
建築面積	2,783 m ²	確認日	2025年4月16日
延床面積	9,102 m ²	確認者	株式会社竹中工務店東京一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合		
環境に配慮した資源を使い、建物利用者が安全で快適に過ごせるよう配慮している。周辺環境と調和し、新感染症With COVID-19)への対応にも配慮した施設としている。		
その他		
特になし		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆を全面的に使用することで、室内環境の品質を高めている。	内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理に配慮している。	できる限り緑地を設けている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI: 0.7 BEI: 0.5	リサイクル材料、有害物質を含まない材料、躯体と仕上げが分離可能な材料を用いることで、廃棄・改修時のリサイクル性に配慮している。	駐輪場や管理車両スペースを確保し交通負荷抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される